

## 1 総括事項

### (1) 県内の状況

三重県の令和4年度末の市町数は14市15町、一部事務組合は9事務組合、広域連合は3広域連合です。

令和4年10月1日現在の行政区域内人口は、1,772,560人であり、令和3年度より13,073人の減少となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (k m <sup>2</sup> )	5,774.47	4,031.95	1,742.51
世帯数 (世帯)	749,559	662,601	86,958
人 口 (人)	1,772,560	1,552,141	220,419

注1：面積と世帯数は「三重県県勢要覧(令和4年版)」記載数値、人口は一般廃棄物処理事業実態調査集計数値

### (2) 一般廃棄物処理事業経費

#### 1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が28,400,453千円(83.0%)、特定財源が5,828,308千円(17.0%)、合計が34,228,761千円で令和3年度より5.5%の減少となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の83.4%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が1,314,281千円(3.8%)、処理及び維持管理費が30,533,671千円(89.3%)、その他2,338,108千円(6.8%)となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は1,199,838千円、し尿処理施設の建設に係る経費は114,443千円となっており、建設・改良費全体は令和3年度と比較して65.8%減少しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は25,370,452千円、し尿処理施設に係る経費は5,163,219千円となっており、処理及び維持管理費全体は令和3年度から3.7%増加しています。

注1：比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならないこともある。

## 【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特定財源	国庫支出金	75,865	33,481	109,346
	都道府県支出金	13,938	1,798	15,736
	地方債	444,400	57,600	502,000
	使用料及び手数料	2,874,145	181,735	3,055,880
	その他	2,083,467	61,879	2,145,346
	小計	5,491,815	336,493	5,828,308
一般財源		23,047,639	5,352,814	28,400,453
合計		28,539,454	5,689,307	34,228,761

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

## 【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分			ご み	し 尿	計	
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	24,041	0	24,041	
		中間処理施設	795,435	35,068	830,503	
		最終処分場	274,661	0	274,661	
		その他	24,650	79,375	104,025	
	調査費		81,051	0	81,051	
	小計		1,199,838	114,443	1,314,281	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	1,685,908	423,913	2,109,821	
		技能職	収集運搬費	2,063,458	98,079	2,161,537
			中間処理費	657,011	44,742	701,753
			最終処分費	107,015	40,880	147,895
	処理費	収集運搬費	616,856	33,910	650,766	
		中間処理費	2,609,388	1,345,341	3,954,729	
		最終処分費	358,399	87,992	446,391	
	車両等購入費		83,309	0	83,309	
	委託費	収集運搬費	6,913,474	454,336	7,367,810	
		中間処理費	9,651,458	2,472,888	12,124,346	
		最終処分費	421,556	31,128	452,684	
		その他	184,738	123,262	308,000	
	調査研究費		17,882	6,748	24,630	
	小計		25,370,452	5,163,219	30,533,671	
その他		1,969,164	368,944	2,338,108		
合計		28,539,454	5,646,606	34,186,060		

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、8市3町4事務組合等に18施設設置され、  
処理能力は2,151 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	11	0	5	2	18
処理能力 (t / 日)	1,925	0	185	41	2,151

※ 令和4年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、4市1町4事務組合等に11施設設置され、  
処理能力は342 t / 日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	8	0	3	11
処理能力 (t / 日)	292	0	50	342

※ 令和4年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、6市5町5事務組合等に19施設設置され、  
処理能力は355 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	ごみ飼料化	その他	計
施設数	15	14	0	0	2	19
処理能力 (t / 日)	213	116	0	0	37	355

※ 令和4年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

#### 4) 最終処分場

最終処分場は、11市6町3事務組合等に25施設設置されており、年間埋立量は17,137m<sup>3</sup>、全体容量4,919,079m<sup>3</sup>、残余容量480,677m<sup>3</sup>です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	20	5	25
全体容量(m <sup>3</sup> )	4,623,284	295,795	4,919,079
年間埋立量(m <sup>3</sup> )	16,429	708	17,137
残余容量(m <sup>3</sup> )	424,755	55,922	480,677

※ 令和4年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

#### 5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合等に15施設設置されており、処理能力は2,205kℓ/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	0	4	10	9	0	15
処理能力(kℓ/日)	0	0	653	1,517	982	0	2,205

※ 令和4年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

令和4年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で837人、し尿処理で112人が従事しており、ごみ処理従事者が88.2%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が42.5%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	249	51	356	148	20	13	837
し尿処理	58	14	22	16	0	2	112
合計	307	65	378	164	20	15	949

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として242件、許可業として1,780件あり、うち、収集運搬に伴う件数が94.5%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として26件、許可業として115件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で90.1%を占めています。

また、業者数としては、合計946業者、9,175人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	179	1,732	46	43	17	5	242	1,780
し尿処理	14	113	2	2	10	0	26	115
合計	193	1,845	48	45	27	5	268	1,895

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	844	115	946

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	8,293	535	362	9,175

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合等、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は、8,600台、積載量は24,922tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は720台、積載量は2,915kℓです。

	ごみ収集運搬機材(積載量:t)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	244	64	41	0	590	103	25	5	6,302	1,207	0	19	
積載量	606	101	114	0	1,702	696	232	95	18,086	3,095	0	195	24,922

	し尿収集運搬機材(積載量:kℓ)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	10	0	5	0	81	11	18	2	535	28	28	2	
積載量	18	0	44	0	341	36	131	52	1,995	133	120	45	2,915

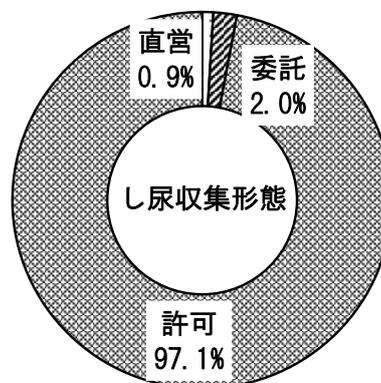
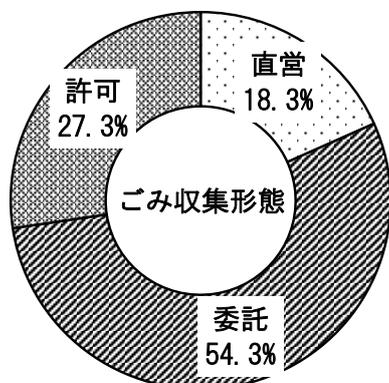
(7) 収集形態

ごみの収集量は 524,120 t / 年 (令和3年度比: 2.7%減少)、し尿 (浄化槽汚泥を含む) の収集量は 575,824 kℓ / 年 (令和3年度比: 0.0%減少) です。

形態別のごみの収集量は、直営が 95,961 t / 年 (令和3年度比: 1.5%減少)、委託が 284,828 t / 年 (令和3年度比: 4.5%減少)、許可業者によるものが 143,331 t / 年 (令和3年度比: 0.4%増加) です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 5,450 kℓ / 年 (令和3年度比: 3.8%減少)、委託が 11,524 kℓ / 年 (令和3年度比: 4.2%減少)、許可業者によるものが 558,850 kℓ / 年 (令和3年度比: 0.1%増加) です。

区 分			収 集 量 ごみ: (t / 年) し尿: (kℓ / 年)	構 成 (%)	前年度比 (%)
ご み	市町・組合によるもの	直 営	95,961	18.3	-1.5
		委 託	284,828	54.3	-4.5
		小 計	380,789	72.7	-3.8
	許可業者によるもの		143,331	27.3	+0.4
	計		524,120	100.0	-2.7
	災害廃棄物		0	0.0	前年度実績なし
	合 計		524,120	100.0	-2.7
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	5,450	0.9	-3.8
		委 託	11,524	2.0	-4.2
		小 計	16,974	2.9	-4.1
	許可業者によるもの		558,850	97.1	+0.1
	合 計		575,824	100.0	-0.0



(8) 処理形態

令和4年度におけるごみの処理量は、585,838 t / 年（令和3年度比：2.6%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は575,824 kℓ / 年（令和3年度比：0.0%減少）です。

ごみの形態別処理量としては、直接焼却処理量は494,498 t / 年（令和3年度比：1.5%減少）、粗大ごみ処理量は24,757 t / 年（令和3年度比：7.5%減少）、堆肥化処理量は1,044 t / 年（令和3年度比：106.7%増加）、燃料化処理量は5,750 t / 年（令和3年度比：0.1%減少）、その他資源化等処理量は28,645 t / 年（令和3年度比：9.0%減少）、その他処理量は631 t / 年（令和3年度比：68.4%減少）、直接資源化量は25,248 t / 年（令和3年度比：5.1%減少）、直接埋立量は5,265 t / 年（令和3年度比：14.0%減少）です。また、自家処理量は354 t / 年（令和3年度比：1.4%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は575,824 kℓ / 年（令和3年度比：0.0%減少）です。

区 分		処理量		構 成 (%)	前年度比 (%)
		ごみ：(t/年)	し尿：(kl/年)		
ご み	処理施設による 処 理 量※	直接焼却	494,498	84.4	-1.5
		粗大ごみ処理	24,757	4.2	-7.5
		堆肥化	1,044	0.2	+106.7
		飼料化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		燃料化	5,750	1.0	-0.1
		その他資源化等	28,645	4.9	-9.0
		そ の 他	631	0.1	-68.4
		直接資源化	25,248	4.3	-5.1
		直接埋立	5,265	0.9	-14.0
		小 計	585,838	99.9	-2.6
	自 家 処 理	354	0.1	+1.4	
	計	586,192	100.0	-2.6	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	575,824	100.00	-0.0
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	0	0.0	前年度実績なし
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	0	0.0	前年度実績なし
		小 計	575,824	100.0	-0.0
	自 家 処 理	0	0.0	前年度実績なし	
計	575,824	100.0	-0.0		

※施設での処理量を計上。

## 2 ごみ処理

### (1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,772,560人です。

ごみ総排出量は、595,589 t / 年で前年度比 2.6%減少しています。このうち処理施設で585,838 t / 年(98.4%)処理されており、残りの大部分の9,751 t / 年(1.6%)が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は580,573 t / 年で全体の99.1%を占めています。

一方、直接埋立量は5,265 t / 年で前年度比14.0%の減少、集団回収量は9,751 t / 年で前年度比2.0%の減少です。

自家処理量は、354 t / 年であり、前年度比1.4%の増加です。

また、資源化率は19.7%となり、昨年度と比べ0.3%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量は減少傾向が続いています。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や3Rの推進について一層努めていくことが必要です。

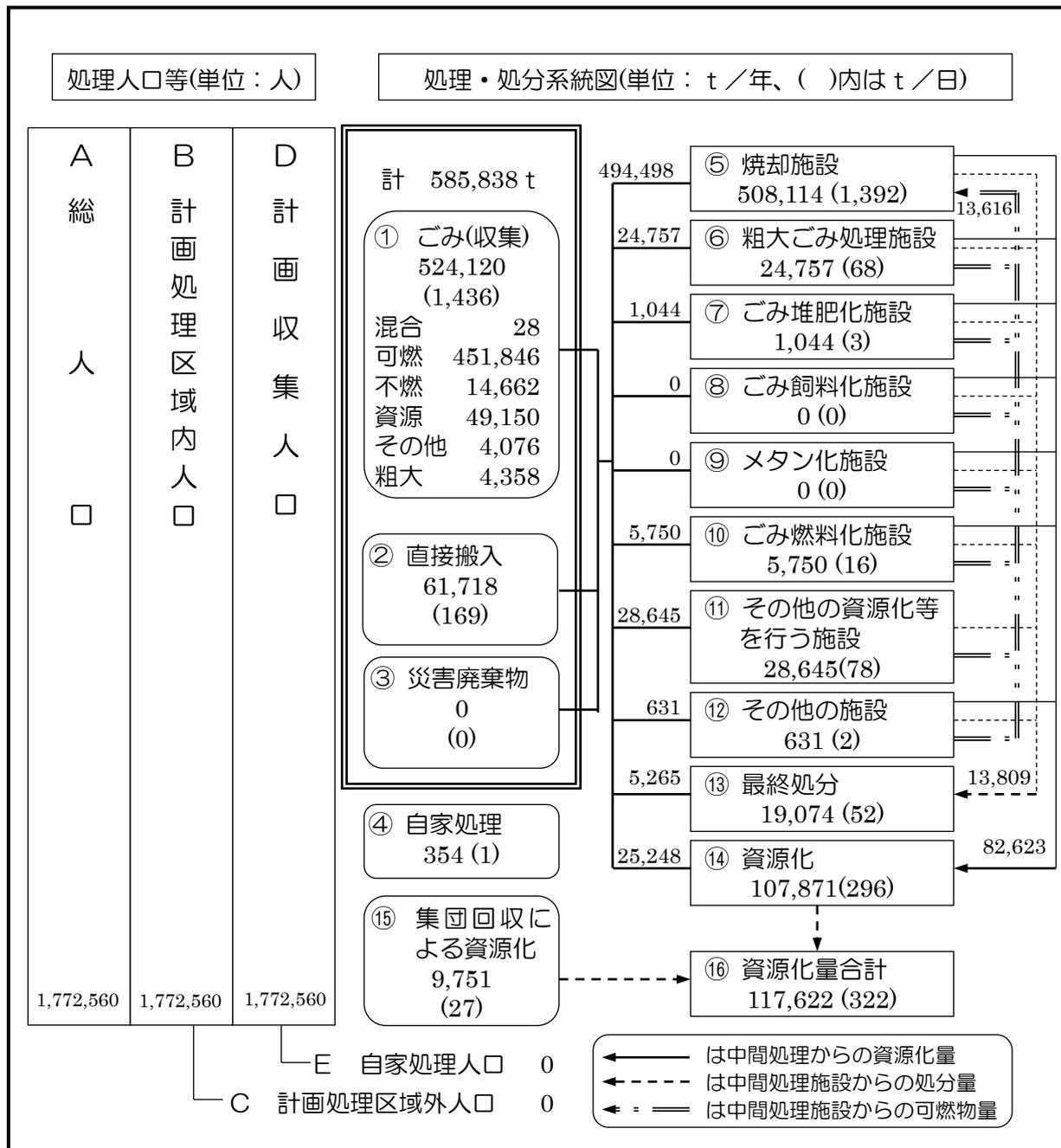
ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、25,370,452千円であり、1tあたり処理に要する経費は43,306円(25,370,452千円÷585,838t)となり、令和3年度と比較して2,276円/t高くなりました。

## (2) ごみ処理の状況

項目		数値	単位		
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.47	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,772,560	人	
	計画収集人口		1,772,560	人	
	自家処理人口		0	人	
収集形態別内訳	収集ごみ	市町・組合によるもの	直 営	95,961	t / 年
			委 託	284,828	t / 年
			小 計	380,789	t / 年
		許可業者によるもの	143,331	t / 年	
		計	524,120	t / 年	
		直接搬入ごみ	61,718	t / 年	
		災害廃棄物	0	t / 年	
		合 計	585,838	t / 年	
処理内訳	処理形態別内訳	直接焼却	494,498	t / 年	
		粗大ごみ処理	24,757	t / 年	
		堆肥化	1,044	t / 年	
		飼料化	0	t / 年	
		メタン化	0	t / 年	
		燃料化	5,750	t / 年	
		その他資源化等	28,645	t / 年	
		そ の 他	631	t / 年	
		直接資源化	25,248	t / 年	
		直接埋立	5,265	t / 年	
		小 計	585,838	t / 年	
集団回収量		9,751	t / 年		
総排出量		595,589	t / 年		
自家処理量		354	t / 年		
総排出量(参考)		586,192	t / 年		

※「総排出量(参考)」 = 「収集ごみ量」 + 「直接搬入ごみ量」 + 「自家処理量」 + 「災害廃棄物」

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- ・計画収集区域率 B/A=100%
- ・計画収集率 D/A=100%
- ・計画収集量 ①=524,120 t/年
- ・計画処理量 ①+②+③=585,838 t/年
- ・総排出量 ①+②+③+⑮=595,589 t/年
- ・1人1日あたりのごみ排出量 (①+②+③+⑮) × 10<sup>6</sup> / (B × 365) = 921 g/人・日
- ・資源化率 ⑯ / (①+②+③+⑮) = 19.7%
- ・再利用率 (⑯ - (⑮+⑩からの資源化量+⑤からの資源化量)) / (①+②+③) = 12.0%
- ・減量処理率 (①+②+③-⑬) / (①+②+③) = 96.7%

【全国】※災害廃棄物を除く。(出典：日本の廃棄物処理 令和3年度版)

- ・総排出量 4,095 万 t/年
- ・計画処理量 3,937 万 t/年
- ・1人1日あたりのごみ排出量 890 g/人・日
- ・資源化率 19.9%
- ・減量処理率 99.1%

※再利用率 (⑯-⑮)-(溶融スラグ+固形燃料+セメント原料+山元還元) / (①+②+③)

(4) ごみ処理形態の推移

項目 / 年度	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総人口	人	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396	1,820,731
計画処理区域内人口	人	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396	1,820,731
計画収集量	t/年	524,120	538,541	546,136	552,665	553,688
直接搬入量	t/年	61,718	62,902	65,095	61,319	60,052
集団回収量	t/年	9,751	9,947	11,051	14,228	14,875
災害廃棄物	t/年	0	0	0	91	0
ごみ総排出量	t/年	595,589	611,390	622,282	628,303	629,059
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	921	938	947	947	947
自家処理量	t/年	354	349	345	342	330
ごみ総排出量(参考)	t/年	586,192	601,793	611,576	614,417	614,070
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	906	923	931	926	924
直接焼却量	t/年	494,498	502,176	508,190	479,737	438,992
直接資源化量	t/年	25,248	26,608	26,825	26,421	27,861
直接埋立量	t/年	5,265	6,124	5,116	6,737	10,409
堆肥化量	t/年	1,044	505	564	648	1,385
その他中間処理量	t/年	59,783	66,002	72,108	100,924	141,178
計	t/年	585,838	601,415	612,803	614,467	619,825
最終処分量	t/年	19,074	20,601	19,467	22,015	24,551
生活系ごみ	t/年	424,141	440,211	450,306	441,152	439,409
事業系ごみ	t/年	161,697	161,232	160,925	172,832	174,331
資源化率	%	19.7	20.0	20.5	23.1	26.7
再利用率	%	12.0	12.2	12.0	11.7	12.3
項目 / 年度	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
総人口	人	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595	1,833,056
計画処理区域内人口	人	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595	1,833,056
計画収集量	t/年	556,704	556,872	562,951	571,059	568,588
直接搬入量	t/年	56,297	61,784	61,187	56,798	65,356
集団回収量	t/年	16,771	17,737	20,618	23,044	25,424
災害廃棄物	t/年	1,449	0	22	0	63
ごみ総排出量	t/年	631,221	636,393	644,778	650,901	659,431
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	945	950	959	976	986
自家処理量	t/年	335	334	329	329	376
ごみ総排出量(参考)	t/年	614,785	618,990	624,489	628,186	634,383
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	921	924	929	942	948
直接焼却量	t/年	435,551	439,336	424,243	421,237	412,954
直接資源化量	t/年	28,574	30,466	32,890	35,755	40,827
直接埋立量	t/年	7,572	6,443	17,756	19,429	27,242
堆肥化量	t/年	1,309	1,289	1,350	1,391	1,438
その他中間処理量	t/年	141,342	140,462	147,920	150,045	151,546
計	t/年	614,348	617,996	624,159	627,857	634,007
最終処分量	t/年	21,807	20,963	36,049	37,776	50,042
生活系ごみ	t/年	435,267	439,321	445,144	452,644	452,506
事業系ごみ	t/年	177,734	179,335	178,994	175,213	181,438
資源化率	%	27.3	27.4	28.5	29.7	30.4
再利用率	%	12.4	13.5	14.5	15.1	15.5

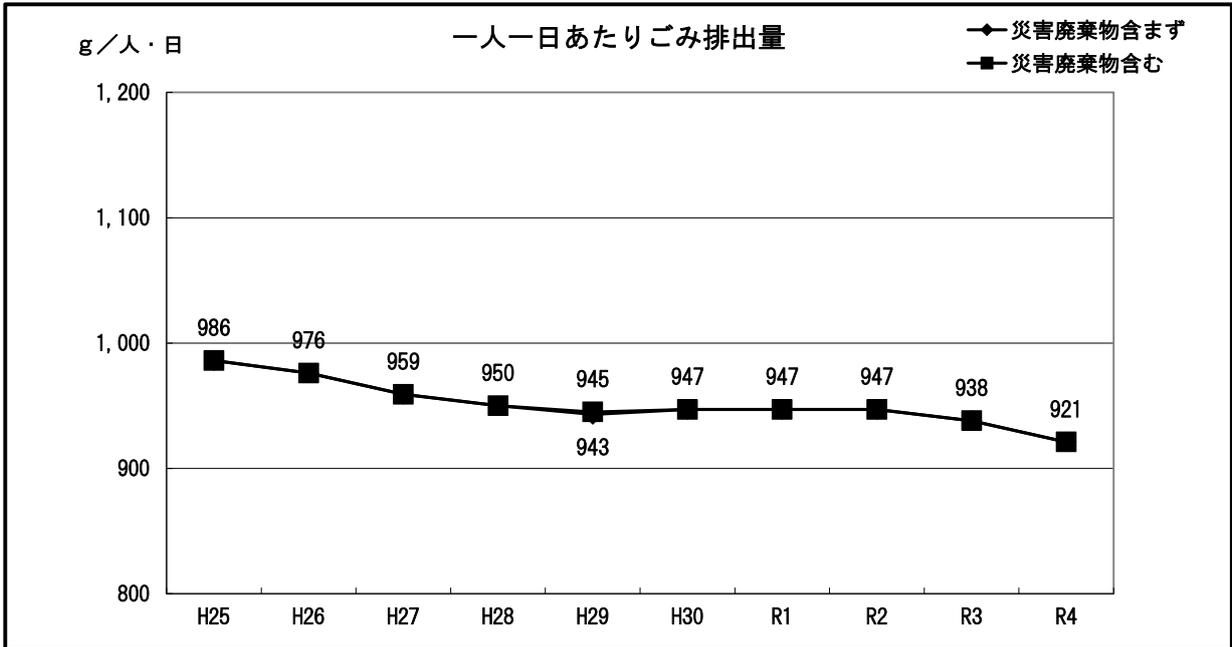
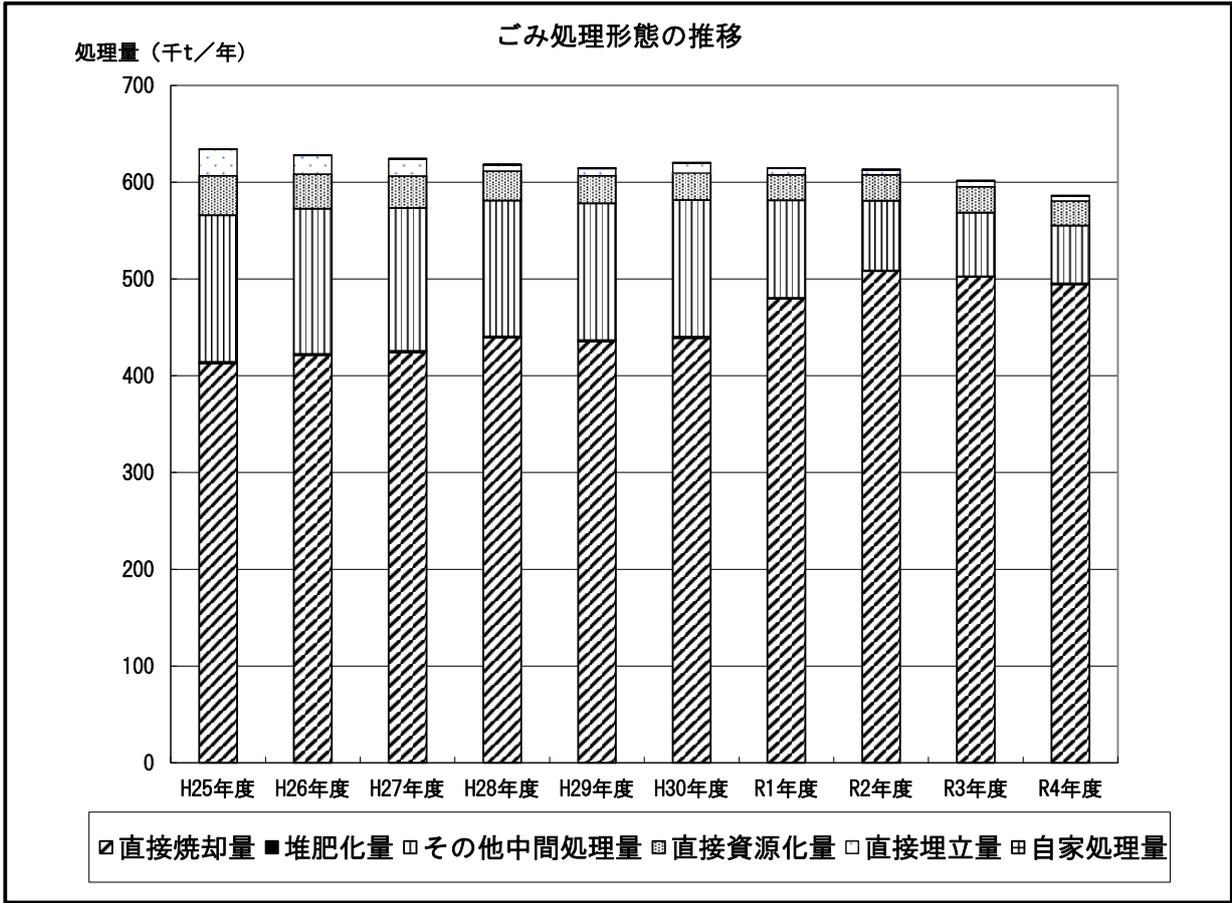
※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く。)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

※ 平成23年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

※ 「総排出量(参考)」 = 「収集ごみ量」 + 「直接搬入ごみ量」 + 「自家処理量」 + 「災害廃棄物」

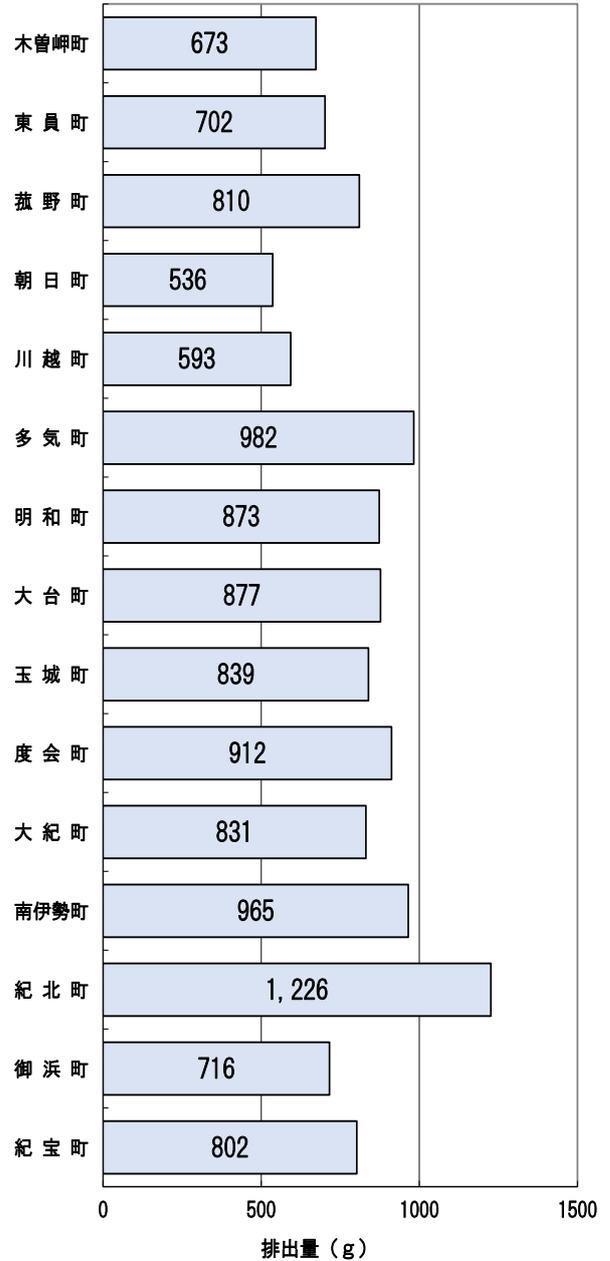
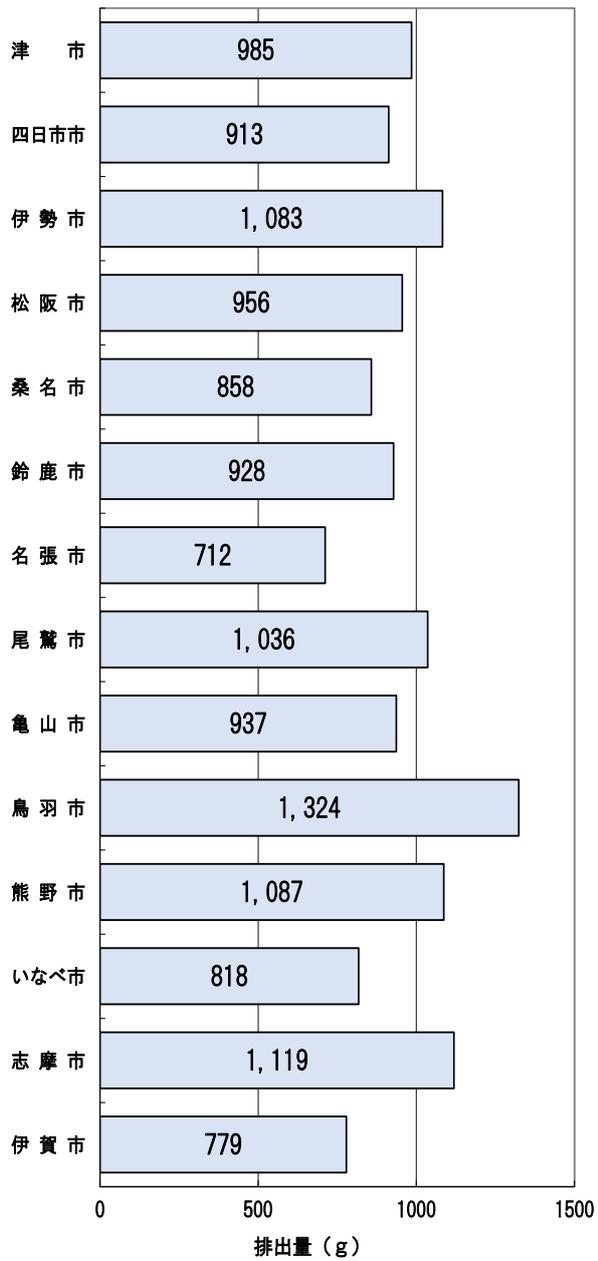


## (5) 1人1日あたりのごみ排出量

(g/人・日)

市町名	令和4年度 実績	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
津市	985	998	1,018	1,020
四日市市	913	924	929	952
伊勢市	1,083	1,097	1,106	1,121
松阪市	956	991	976	984
桑名市	858	1,002	1,032	940
鈴鹿市	928	923	935	944
名張市	712	725	740	730
尾鷲市	1,036	1,047	1,011	1,041
亀山市	937	944	971	941
鳥羽市	1,324	1,236	1,221	1,383
熊野市	1,087	1,023	1,027	1,055
いなべ市	818	826	810	757
志摩市	1,119	1,080	1,048	1,065
伊賀市	779	787	790	786
木曾岬町	673	684	715	686
東員町	702	727	758	746
菰野町	810	804	811	805
朝日町	536	567	554	533
川越町	593	606	607	586
多気町	982	904	934	1,065
明和町	873	873	858	855
大台町	877	887	885	886
玉城町	839	860	856	885
度会町	912	945	956	823
大紀町	831	833	821	833
南伊勢町	965	889	996	995
紀北町	1,226	1,198	1,224	1,214
御浜町	716	709	708	708
紀宝町	802	794	817	889
県平均	921	938	947	947

【1人1日あたりのごみ排出量】



### 3 し尿処理

#### (1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,772,560人であり、そのうち水洗化人口は、1,689,429人(95.3%)、非水洗化人口は83,131人(4.7%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口978,967人(57.9%)、浄化槽人口629,388人(37.3%)、集落排水施設等人口77,402人(4.6%)コミュニティ・プラント人口3,672人(0.2%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は83,131人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

令和3年度と比べると、水洗化人口では公共下水道人口が10,635人増加、浄化槽人口が15,578人減少、集落排水施設等人口が2,867人減少、コミュニティ・プラント人口が307人増加しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は、5,570人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が86,086kℓ/年(15.0%)、浄化槽汚泥が489,738kℓ/年(85.0%)で収集総量は575,824kℓ/年です。また、自家処理量は、0kℓ/年です。

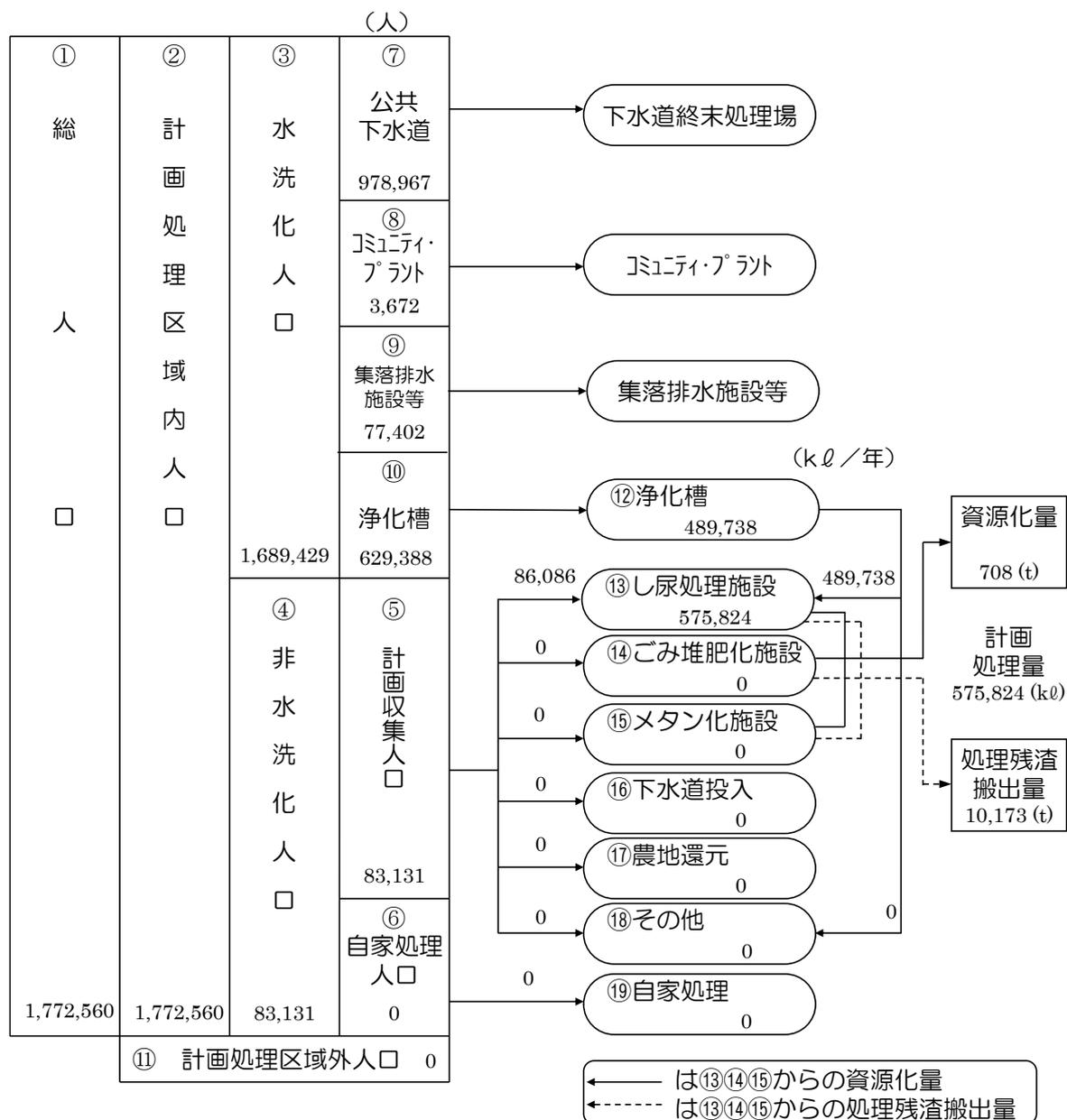
令和3年度と比べると、計画収集総量は43kℓ/年減少し、自家処理量は増減がありませんでした。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、5,163,219千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は8,967円(5,163,219千円÷575,824kℓ)となり、令和3年度と比較して663円/kℓ高くなりました。

## (2) し尿処理の状況

項目		数値	単位		
計画 収集 人口 等	計画収集区域内面積		5,774.47	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,772,560	人	
	水洗化 人口	公共下水道人口		978,967	人
		コミュニティ・プラント人口		3,672	人
		集落排水施設等人口		77,402	人
		浄化槽人口		629,388	人
		内 訳	単 独 浄 化 槽 人 口	147,467	人
			合 併 浄 化 槽 人 口	479,753	人
			そ の 他 浄 化 槽 人 口	2,168	人
		水洗化人口 計		1,689,429	人
	非水洗化 人口	計画収集人口		83,131	人
自家処理人口		0	人		
非水洗化人口 計		83,131	人		
収集 形態 別 内 訳	市町・組合によるもの		直 営	5,450	kℓ / 年
			委 託	11,524	kℓ / 年
			小 計	16,974	kℓ / 年
	許可業者によるもの		558,850	kℓ / 年	
	計		575,824	kℓ / 年	
種 類 別 内 訳	し尿		86,086	kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		489,738	kℓ / 年	
	計		575,824	kℓ / 年	
処 理 内 訳	処理形態別内訳		し尿処理施設	575,824	kℓ / 年
			ごみ堆肥化施設	0	kℓ / 年
			メタン化施設	0	kℓ / 年
			下水道投入	0	kℓ / 年
			農地還元	0	kℓ / 年
			そ の 他	0	kℓ / 年
			小 計	575,824	kℓ / 年
自 家 処 理 量		0	kℓ / 年		
総 排 出 量		575,824	kℓ / 年		

(3) し尿処理のフロー図



- ・ 計画処理率 (②/①) = 100% (人口ベース)
- ・ 水洗化率 (③/①) = 95.3%
  - 公共下水道水洗化率 (⑦/①) = 55.2%
  - コミュニティ・プラント水洗化率 (⑧/①) = 0.2%
  - 集落排水施設等水洗化率 (⑨/①) = 4.4%
  - 浄化槽水洗化率 (⑩/①) = 35.5%
- ・ 非水洗化率 (④/①) = 4.7%
  - 総人口における計画収集率 (⑤/①) = 4.7%
  - 非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%
  - 総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%
  - 非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処 理 内 訳

施設数と処理能力

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設  
575,824  
kℓ /年  
100.0%

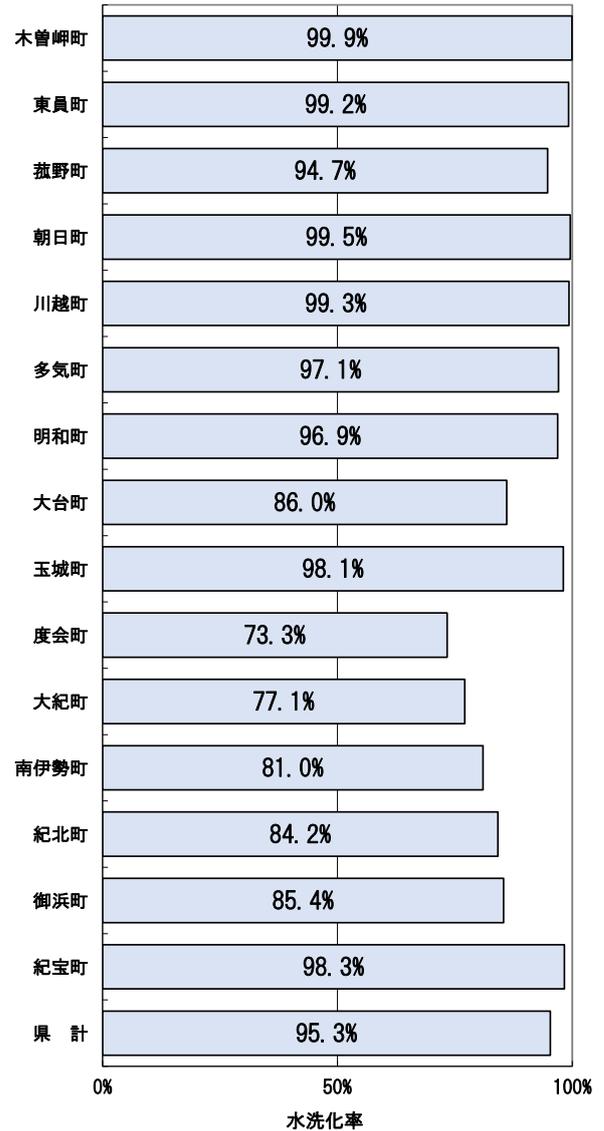
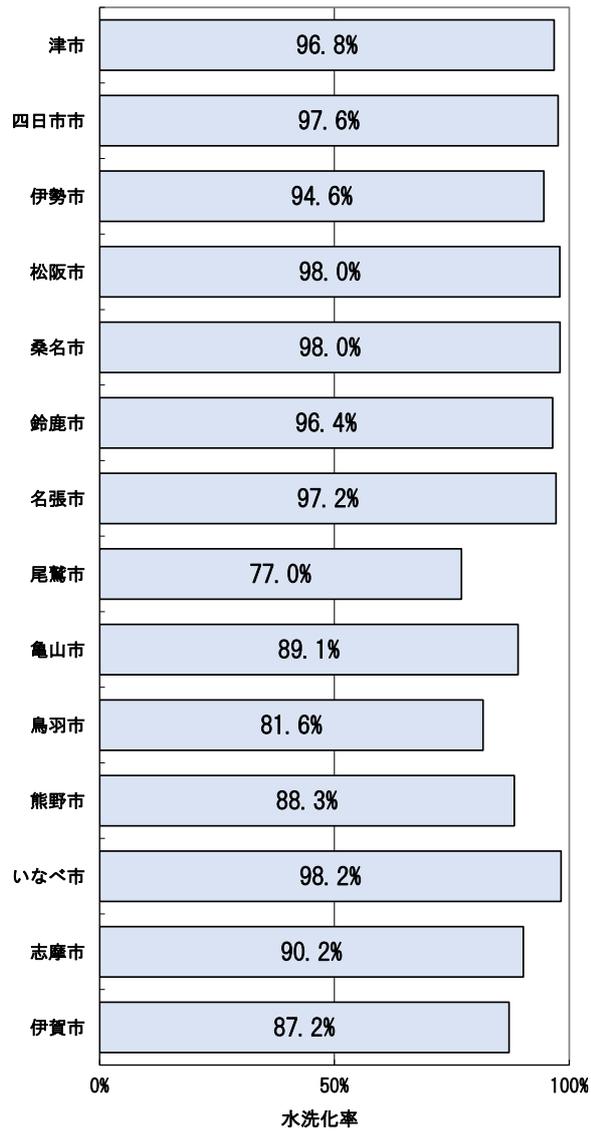
施設種別	施設数	公称能力 (kℓ /日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	0	0
標準脱窒素方式	4	653
高負荷脱窒素方式	10	1,517
膜分離方式	9	982
下水投入方式	0	0
計	15	2,205

※ 令和4年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥）  $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 575,824 \text{ kℓ /年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理）  $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) + (19) = 575,824 \text{ kℓ /年} \dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率  
 $(13) + (16) / a = 100.0\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量  
 $((a - (12)) \times 10^3) / ((5) \times 365) = 2.84 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量  
 $((b - (12)) \times 10^3) / ((4) \times 365) = 2.84 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量  
 $((12) \times 10^3) / ((8) + (9) + (10)) \times 365 = 1.89 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量  
 $((12) \times 10^3) / ((8) + (9) + (10)) \times 365 = 1.89 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量  
 $(b \times 10^3) / ((4) + (8) + (9) + (10)) \times 365 = 1.99 \text{ ℓ /人・日}$

(5) 水洗化率



## (6) し尿処理形態の推移

項目／年度	単 位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
計 画 処 理 区域内人口	人	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396	1,820,731
水洗化人口	人	1,689,429	1,696,932	1,703,991	1,711,468	1,708,939
公共下水道	人	978,967	968,332	978,903	959,896	966,920
コミュニティ・プラント	人	3,672	3,365	3,385	3,389	3,065
集落排水施設等	人	77,402	80,269	-	-	-
浄化槽	人	629,388	644,966	721,703	748,183	738,954
非水洗化人口	人	83,131	88,701	96,594	100,928	111,792
し尿処理施設	kℓ /年	575,824	575,867	591,994	603,744	614,904
下水道投入	kℓ /年	0	0	0	0	0
その他	kℓ /年	0	0	0	0	115
計(a)	kℓ /年	575,824	575,867	591,994	603,744	615,019
自家処理量(b)	kℓ /年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の 総処理量(a)+(b)	kℓ /年	575,824	575,867	591,994	603,744	615,019
項目／年度	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
計 画 処 理 区域内人口	人	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595	1,833,056
水洗化人口	人	1,728,767	1,721,013	1,716,778	1,698,196	1,694,666
公共下水道	人	940,787	892,401	879,245	835,503	831,930
コミュニティ・プラント	人	3,369	3,311	3,332	7,166	3,340
集落排水施設等	人	-	-	-	-	-
浄化槽	人	784,611	825,301	834,201	855,527	859,396
非水洗化人口	人	100,978	113,608	119,963	129,399	138,390
し尿処理施設	kℓ /年	613,535	620,050	614,271	624,576	629,269
下水道投入	kℓ /年	0	0	9,142	9,413	9,552
その他	kℓ /年	154	145	162	163	163
計(a)	kℓ /年	613,689	620,195	623,575	634,152	638,984
自家処理量(b)	kℓ /年	0	0	0	0	3
計画処理区域内の 総処理量(a)+(b)	kℓ /年	613,689	620,195	623,575	634,152	638,987

